

パリ国際博覧会 2025年誘致を正式に立候補表明

フランソワ・オランド（François Hollande）大統領は22日（火）、博覧会国際事務局（BIE : Le Bureau International des Exposition）にあてた手紙の中で、正式に2025年の国際博覧会へのフランスの立候補を表明しました。「知識の共有、地球の保護」というテーマに基づき「開発モデルの改善」を目標に掲げています。オランド大統領は、「健康」「教育」「文化」、そして2015年12月に行われた第21回気候変動枠組条約締約国会議（COP21）で採択された、パリ協定に批准する「環境」をテーマに掲げていると言及しています。これに伴いイル・ド・フランス（Ile-de-France）地域圏に新たに総延長200kmの地下鉄網を建設中であることを強調しました。

組織委員会は今後、パリ地位圏の7つの候補地から一つを最終候補地として選ぶ予定です。現在までに大阪も誘致に積極的で、来春にもBIEに正式に立候補を表明する予定で、2018年11月に最終候補地が決定されます。

パリは、2024年の夏季オリンピック招致をめざしており、開催が決まれば100年ぶりに同地での開催となり、また2025年のパリ国際博覧会が決まれば1947年以来78年ぶり、9回目の開催となり、今後の盛り上がりがますます期待されます。

執筆：Daisuke

オンラインフランス語学校

ENSEMBLE EN FRANÇAIS

アンサンブルアンフランセ

オンラインフランス語学校アンサンブルアンフランセは、プロの講師によるマンツーマンのスカイプレッスンが1回1500円～受講できます。

いつでもどこでも手軽に受講できる利便性と生徒一人一人にカスタマイズされた質の高いレッスンが好評です。

